

あなたの支援を必要としています。

「海外たすけあい」寄付金は、赤十字が世界で苦しむ人々を救うために活用しています。

爆撃でボロボロになっちゃったけど、僕の家に戻りたい。

Viviane Toumeah/SARC



シリア/モハメッドくん

シリアでは、反政府勢力と政府軍による激しい武力衝突の結果、死者は7万人を超え、人口の3分の1の680万人が人道支援を必要としています。心のケアセンターに通うモハメッドくんは、「爆撃で跡形もないけど、この船に乗って家に戻りたいな」と折り紙で作った船を大事そうに持ち歩きます。赤十字は紛争で避難民になった家族に対して生活必需品を届け、また心のケアセンターを運営し、長期にわたって避難生活を送る人々を支援しています。

一人ひとりの命をつなぐ水「経口補水液」の作り方を実演!



フィリピン/津田看護師

フィリピンは、モンスーンの影響により頻繁に大雨に見舞われ、毎年水害が発生しています。今年も、8月に台風11号および台風12号が上陸し、計33人が死亡し、21,000戸の家屋が損壊、290万人以上が被害を受けました。赤十字は海外たすけあいの資金を活用し、生活必需品や食料を迅速に被災者に届けています。

ご協力ありがとうございました。

平成24年度は、総額7億24万2,272円が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

出産に必要な備品が揃っているママバッグは本当に助かっています!



ウガンダ/アリスさん

ウガンダでは、古くからの慣習で妊婦の7割は自宅を出産。感染症などの危険性が高く、妊産婦死亡率は日本の110倍です。赤十字は、母子保健教育、ボランティアの養成などを行い、出産前の定期検診の大切さを伝えています。その結果、支援先の地域では7割の妊婦が保健センターに通うようになりました。また、保健センターに通う妊婦に、出産に必要なせっけんやかみそりなどが入った「ママバッグ」を10,000個配付しました。

ママと健康診断にきたよ。栄養状態が改善したってほめられちゃった。

Olav A. Saltbones/IFRC



ソマリア/ナシャードちゃん

ソマリアでは、400万人が長年の内戦に加え、深刻な干ばつと飢餓に苦しんでおり、うち260万人が生きるために継続した支援を必要としています。平成24年度は、「海外たすけあい」の資金で、食糧や物資配付、保健医療支援、給水・衛生支援を行いました。これまでに16万2,000人分に当たる3,000トンの食糧を配付。また、10月にはビニールシートや水容器、毛布、パケツなどの援助物資を届けました。

ご協力をお願い

紛争で苦しむ人への支援

2.1億円

宗教や民族対立を理由に紛争が続く地域で、犠牲者の緊急救援や、長期にわたる避難生活を送る人々を支援します。

【主な対象国】

- シリア及び周辺諸国
- アフリカ地域
- アフガニスタン
- その他紛争が発生した国 など
- ソマリア

災害で苦しむ人への支援

3.1億円

世界各地で発生する地震、洪水などの自然災害。直ちに救援物資を届けるための倉庫の整備や、日ごろからの避難訓練、減災のためのマングローブ植林などを支援します。

【主な対象国】

- ベトナム
- アジア・太平洋地域
- インドネシア
- アフリカ地域
- ネパール
- その他突発的な災害に見舞われた国 など

病気から身を守るための支援

2.4億円

予防できる病気や、治せる病気でのちを落とすことがないように、医療・保健・衛生分野で知識の普及、生活環境の改善などを支援します。

【主な対象国】

- ケニア
- ウガンダ
- シエラレオネ
- アジア・太平洋地域

事務経費(事業費総額の6%以内)

5,000万円

計8.2億円